



Letter of the M.Y. elementary school

ひびき

南山田小学校だより

～ ともだちいっぱい かがやく子 ～

学校通信 NO.315
令和 4年度 7月号
令和 4年 6月 30日



お土産選びのーコマから

校長 鈴木 智彦

日ごとに暑くなってきました。6月17日(金)18日(土)は6年生が日光修学旅行、22日(水)23日(木)は5年生が上郷宿泊体験学習に行きました。私は6年生の日光修学旅行の引率をしました。1日目は日光の自然の雄大さ、2日目は歴史的建造物の美しさを、子どもたちとともに満喫しました。

子どもたちにとっての楽しみの一つに、「買い物」があります。宿の土産物コーナーで3,000円分の買い物をするのです。各クラス入れ替え制で制限時間25分です。レシートは修学旅行のしおりに貼るので、ちゃんと3,000円に納めないといけません。

Aさんは、財布を握りしめ、自分が好きなものを選んでいました。3,000円を超えないようにするために、一生懸命、端数を切り上げて考えていました。そのうち、宿の方が用意してくれた買い物かごと電卓に気が付いたAさんは、自分が選んだものの値段を電卓で確かめ始めました。すると、選んだものの中からいくつかを戻し、別のものを入れて会計に向かったのです。会計が済んだAさんは「3,000円、ぴったりで買えた!」と教えてくれました。

当初、Aさんは、「自分が買いたいもの」を選んでいました。「3,000円の中でどれだけ好きなものを買えるか」という視点です。しかし、電卓を使ったことによって、お釣りを中心に考えるようになりました。「いかにお釣りを出さないで買い物できるか」という視点、つまり「好きなものを買う」から「効率的に買う」に規準が変わったんです。

算数でも、買い物を例にした問題があります。しかし、そこでは正解が決まっているため、視点や規準が変わることはありません。でも、実生活の中では、自分のその時の視点や規準によっていろいろなことを変えていきます。今回、Aさん以外にも「自分(家族)の分から選ぶ」「質より量」「食べ物より形に残るもの」等、様々な規準で子どもたちは葛藤しながら選んでいました。中には「部屋でみんなで食べる」という規準でポテトチップスを選んだ子もいましたが、「それはダメだよ。」と先生から指導されていました。(^^)

「教室での学びを、日常生活でどう活用するか」 そのためには、今回のような学校行事の場はとても大切です。まだまだコロナ禍ではありますが、少しでも子どもたちの経験の場、具体的な実践の場が広がるよう取り組んでいきます。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。

本校の登校時間は8時15分～8時30分です。昇降口は8時15分に開けることになっていますが、現状、7時50分にはもう昇降口前に並んでいる姿が見られます。

それぞれの事情がおりだとは思いますが、登校時の安全や昇降口前での密を避けるためにも8時15分以降に校門をくぐるような送り出しをお願いいたします。